

第 48 卷 第 1 号

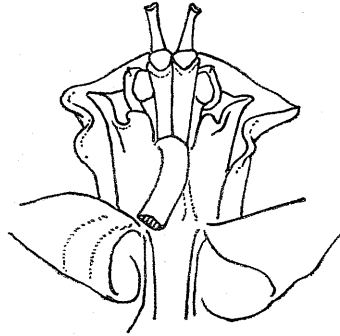
(通卷第 539 号)

Vol. 48 No. 1

植 物 研 究 雜 誌

THE JOURNAL OF JAPANESE BOTANY

昭和 48 年 1 月 January 1973



津村研究所

Tsumura Laboratory

TOKYO

昭和四十八年一月十五日印刷
昭和四十八年一月二十日発行
第三種郵便物認可
（毎月二十日発行）

目 次

服部新佐・岩月善之助・水谷正美・山田耕作： 東ネパールのナンジャモンジャゴケ属	1
井上 覚： <i>Takakia ceratophylla</i> Gro. の染色体研究 (予報)	10
千原光雄： サンゴモの生殖発生と分類 (3) サンゴモ属, モサズキ属, およびその近縁属について	13
宇田川俊一・高田正樹： <i>Aphanoascus cinnabarinus</i> の再発見	21
前川文夫・橋本 保： ボリビア産 <i>Masdevallia</i> 属の1新種	27
雑 録	
浅井康宏： 新品種 ウスイロワレモコウ...19——山崎 敬： ネコノチチ属およびその近縁属について...30	

Contents

Sinske HATTORI, Zennoske IWATSUKI, Masami MIZUTANI & Kosaku YAMADA: The genus <i>Takakia</i> in East Nepal	1
Satoru INOUE: Chromosome studies on <i>Takakia ceratophylla</i> Gro. (Preliminary report)	10
Mitsuo CHIHARA: Reproductive cycles and spore germination of the Corallinaceae and their possible relevance in the systematics (3) <i>Corallina</i> , <i>Jania</i> and their related genera	13
Shun-ichi UDAGAWA & Masaki TAKADA: The rediscovery of <i>Aphanoascus cinnabarinus</i>	21
Fumio MAEKAWA & Tamotsu HASHIMOTO: A new <i>Masdevallia</i> species from Bolivia	27
Miscellaneous	
Yasuhiro ASAI: On a new form of <i>Sanguisorba officinalis</i> Linn....19	
—Takasi YAMAZAKI: On <i>Rhamnella</i> and its allied genera...30	

[表紙カットの説明] ミズトンボ *Habenaria sagittifera* の花の中心を裏側からみる。昆虫か蟹の頭のような印象だが、ランの花も普段見ようとしない方向から眺めると、見落し勝ちな形質に改めて気付く。つの状の突起は花粉塊を受けていた部分、その下の円四つは中央が柱頭、左右が仮おしべ、その外側のひだは側花弁で波形のうねりはこの属の特徴としての下部裂片を意味する。この側花弁は斜めに、また唇弁本体は長さ 2 mm にわたって蕊柱と癒合しているので唇弁本体との間には稜こそあれ裂け目はないなど改めて気がついた。(前川文夫)

[Explanation of the cut on the cover] Ventral view of a flower of *Habenaria sagittifera*. (F. Maekawa)

投 稿 規 定

1. 論文の投稿者は原則として本誌1年以上の購読者であること。
2. 文章は簡潔に書くこと。
3. 論文の脚注に著者の勤務先(勤務されていない場合は住所)とその欧文訳を付記すること。また、継続論文は脚注に前報掲載の誌名、巻数、頁、年号を入れること。
4. 本論文と雑録の著者名にはローマ字綴り、題名は欧和両文で付けること。
5. 和文原稿は平かなまり、横書のこと。植物和名には片かなを用い、なるべく400字詰の原稿用紙を用いること。欧文原稿は“一行あき”にタイプすること。
6. 和文の本論文には欧文の、欧文のそれには和文の簡単な摘要をつけること。
7. 原図には必ず倍率を表示し、図中の記号、数字には活字を貼込むこと。原図の説明文は2部を作製し、1部はたやすく剝がすことができるように貼っておくこと。図は刷上りで頁幅か又は図の側方に10字以上のあきが必要である。
8. アート紙使用のプレートについては実費を著者で負担のこと。
9. 登載する順序や体裁は編集部にお任せのこと。活字の指定は編集部ですが、特に希望される個所があれば鉛筆で記入のこと。
10. 投稿者は必要とする別刷数(50の倍数)を原稿に明記すること。本論文に限りそのうち50部は無料、それ以上は著者負担のこと。
 - a. 希望される別冊の部数は論文原稿に明記のもの以外は引き受けない。
 - b. 雑録の別刷は1頁以上のもので実費を著者が負担する場合に限って作成する。
 - c. 著者の負担する別刷の代金は印刷所から直接に請求するので印刷所へ御送金のこと。御送金の後に別刷を郵送する。
11. 送稿の際には住所と郵便番号とを明記すること。
12. 送稿や編集に関係した通信は〒105 東京都港区西新橋 1-20-14, 植物研究雑誌編集幹事、藤田路一あてのこと。

編 纂 員

Members of Editorial Board

朝比奈泰彦 (Yasuhiko ASAHINA)

編集員代表 (Editor in chief)

千原光雄 (Mitsuo CHIHARA)	藤田路一 (Mitiiti FUJITA)
原 寛 (Hiroshi HARA)	久内清孝 (Kiyotaka HISAUCHI)
井上 浩 (Hiroshi INOUE)	伊藤 洋 (Hirosi ITO)
木村陽二郎 (Yojiro KIMURA)	木村雄四郎 (Yushiro KIMURA)
小林義雄 (Yosio KOBAYASI)	黒川 遼 (Syo KUROKAWA)
前川文夫 (Fumio MAEKAWA)	大橋 広好 (Hiroyoshi OHASHI)
佐々木一郎 (Ichiro SASAKI)	津山 尚 (Takasi TUYAMA)
山崎 敬 (Takasi YAMAZAKI)	

代 金 払 込

- 1) 本誌代価普通号1部150円，増大号は別に定めます。
- 2) 1ヶ年分（雑誌普通号および増大号を含む12回分）1,700円（送料別，1部16円）。
- 3) 代金払込は，〒182 東京都狛江市和泉1421津村研究所（振替東京1680）あてにお送り下さい。

Overseas annual subscription rates: \$10 for each volume including postage.

All communications to be addressed to the Editor

Dr. Yasuhiko Asahina, Prof. Emeritus, M. J. A.

Tsumura Laboratory, 1421, Izumi, Komae-shi, Tokyo, Japan

昭和48年1月15日印刷
昭和48年1月20日発行

編集兼発行 佐々木一郎

印刷者 富田元

東京都練馬区豊玉北2ノ13

印刷所 学術図書印刷株式会社

東京都練馬区豊玉北2ノ13
電話 (991) 3754番

発行所 津村研究所

東京都狛江市和泉1421
(振替東京1680)

定 価 150 円

不 許 複 製
